

鉄道ダンシプロジェクト2013 **秋企画**

2014.4 三陸鉄道
完全復旧に向けて

鉄道ダンシ新章始動!



田野畑 ユウ Tanohata Yu

CV 櫻井 孝宏(さくらいたかひろ)

岩手県下閉伊郡田野畑村出身。実家は田野畑村の酪農家で、中学までは地元(羅賀小学校池名分校、田野畑中学校)で、高校は三陸鉄道北リアス線で久慈市の久慈高校へ通学。高校時代は弓道部に所属。高校卒業後、早稲田大学商学部へ進学。中学時代に田野畑村で開かれた「早稲田大学思惟の森の会」の活動に参加した時に、早稲田の学生たちと交流したことが志望の動機で、進学するため、三陸鉄道の車両内で勉強に励んだ。東京では、中野区鷺宮のアパートに住み、西武新宿線鷺宮駅から大学のある高田馬場駅まで通った。恋ヶ窪ジュンは大学の後輩で、よく同じ車両に乗り合わせたことから、親しい仲となった。

大学卒業後、イオン(株)へ就職し、希望していた乳製品担当のバイヤーとなる。

3.11は、本社での打ち合わせ中に迎える。会社からは強く慰留されたが、故郷の復興のため田野畑村へ帰ることに。

実家を手伝いながら、村の復興とその後の地域振興を考え、三陸鉄道という地域資源に着目。時を同じくして、復旧に向けて動き出した三陸鉄道が、復興と将来にわたる発展を見据え、地元の人材を募集していることを知り応募。

2012年4月1日に入社。同日は、三陸鉄道北リアス線田野畑・陸中野田間運行再開記念式典が行われた。



恋し浜 レン Koishihama Ren

CV 鈴村 健一(すずむらけんいち)

岩手県大船渡市出身。中学まで地元(綾里小、綾里中)で、高校は三陸鉄道南リアス線で大船渡高校へ通学。スポーツ万能で、中学からバスケット部に所属し、中高と主将を努める。小さい頃から海が大好きで、肉厚で甘みのあるブランドホタテ「恋し浜」の養殖を行っている父親の背中を見て育つ。小さいころからやんちゃ坊主で、地域の同世代ではリーダー的な存在。

高校時代、最寄り駅の「小石浜駅」が、「恋し浜」にちなみ、恋のパワースポットとして鉄道ファンのカップルが結婚式を挙げたことなどもあり、駅名を「恋し浜駅」に変更した。この駅名変更に、地元の先輩たちと一緒に取り組む、三陸鉄道との関係を深める。駅名の変更は、海の日の7月20日に行われ、今では「恋の成就に」と多くのホタテ絵馬が待合室に吊るされている。この取り組みを通じて、“地域”を深く考えるようになる。

バスケット一色だった高校生活も終わりをつげ、ホタテ漁師に。

3.11は養殖作業中の船の上で迎える。船が酷く軋むほどの今まで経験したことがないような揺れを船上でも感じ、家族と仲間を思い、船を港へ向ける。

生業の再生とともに、三陸全体の復興の一躍を担いたいと考えて、復興のシンボリックな存在となっていた三陸鉄道への入社を希望。

2012年4月1日に入社。同日は、三陸鉄道北リアス線田野畑・陸中野田間運行再開記念式典が行われた。

鉄道ダンシ“小”選挙 9/29～10/6 開催!

今年もやります“小”選挙。今回は3名でセンターを競い、1位に選ばれたキャラが、1週間三陸鉄道のHPのトップを飾ります。

投票期間 9月29日(日)～10月6日(日)の1週間

結果発表 10月15日(火)11時～10月21日(月)11時まで 三陸鉄道HP掲載

鉄道ダンシHP開設!
www.tetsudoudanshi.com



鉄道ダンシに関する
最新情報はこちらから